

# がん検診を受けましょう! ~早期発見で守られるあなたの未来~

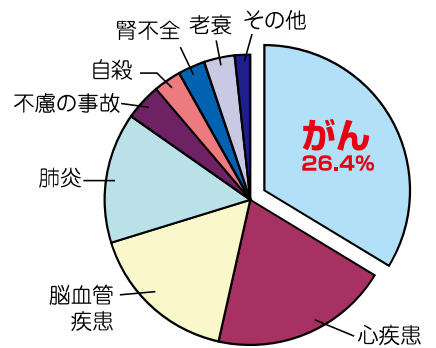
本県において、がんは死因の第1位であり、平成20年には4人に1の方が、がんで亡くなっています。がんの部位別の死亡率で見ると、男女ともに肺がんで亡くなる方が増加し、がんによる死因の第1位となっています。また、胃がんを除くほとんどのがんも死亡率が増加傾向にあります。

がんは、どんなに気をつけていても、完全に防ぐことはできませんが、『がん検診』で早期に見つけることで、治すことができます。

—— 定期的ながん検診を受けましょう。 ——



本県における死因別割合(平成20年)



## 市町村でも、がん検診を行っています!

数百円~5千円程度で受診できますが、実施時期や実施場所など詳細はお住まいの市町村にお問い合わせください。

### 市町村が実施するがん検診

がん検診の種類	検診の内容	対象	検診間隔
胃がん	胃X線撮影	40歳以上	年1回
大腸がん	便潜血反応検査	40歳以上	年1回
肺がん	胸部X線撮影、喀痰細胞診	40歳以上	年1回
乳がん	視触診・マンモグラフィ撮影	40歳以上	2年に1回
子宮がん	子宮頸部細胞診	20歳以上	年1回

なお、職場での検診や、医療機関へ直接検診(人間ドック)を申し込んで受診することもできます。



### 低線量CTによる肺がん検診費用の一部助成

県と契約した検診機関において、自己負担2,550円で受けることができます。

対象：県内に住所を有する満50歳以上の方(上限1万人)

(問い合わせ先) 県庁健康増進課がん対策・歯科保健係 ☎099(286)2721

### 女性特有のがん(乳がん・子宮がん)検診の無料クーポン券の配布

多くの市町村では、一定年齢の方に検診が無料で受けられるクーポン券を配布しています。クーポン券がお手元に届いた方は、この機会を利用して検診を受けましょう。

### 10月は『鹿児島県ピンクリボン月間』です。

県では毎年10月を「鹿児島県ピンクリボン月間」とし、乳がんの早期発見・早期治療を呼びかけています。月に1度の自己検診、40歳以上になったら2年に1度のマンモグラフィ検診を習慣にしましょう。

問い合わせ先 県庁健康増進課 ☎099(286)2721

# がん治療の新たな取り組み

~粒子線によるがんの治療が始まります~

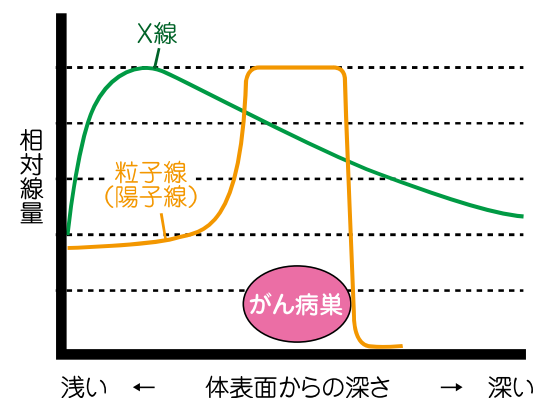
## 粒子線治療とは?

粒子線治療は、水素イオンなどの粒子線を用いて、がん病巣のみを集中的に破壊する治療法で、全国的に関心が高まっている最先端のがん治療法です。

### 【粒子線治療の特徴(X線と粒子線による治療の違い)】

がん治療に利用される放射線は、従来の放射線治療に利用されてきたX線などの光子線と粒子線の2つに分けられます。粒子線は、エネルギーを病巣に集中できる治療法で、がん病巣に多くの線量を照射しつつ、周囲の正常組織への影響を軽減できます。

- 病巣のみをピンポイントで破壊できるため、正常細胞への損傷が少ない
- 働きながらの通院でも治療が可能
- 速やかな社会復帰が可能



## メディポリス指宿における取り組み



がん粒子線治療研究センター(指宿市東方5188番地 ☎0993(23)5188)

平成23年春、指宿市のメディポリス指宿に、粒子線による「がん」の治療研究を行う財団法人メディポリス医学研究財団附属病院「がん粒子線治療研究センター」が開業する予定です。この施設は、粒子線治療によるがんの治療や研究を行う九州初の施設で、全国に先駆けて粒子線による乳がんの治療研究も行う特色ある施設となる予定です。



県では、この施設を、がんの先端的治疗研究の拠点と位置づけ、鹿児島大学や県医師会、指宿市との連携のもと、施設整備に対する必要な支援・協力をを行うとともに、がん粒子線治療の普及・啓発に取り組んでいます。

### 「がん粒子線治療研究センター」に期待される効果

- 高齢者が多い本県の総合的がん対策への寄与
- がん治療研究の拠点となる高度先進的な施設としての効果
- 地域産業振興への効果 など

問い合わせ先 県庁医療制度改革推進室 ☎099(286)2738